

# ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 256



\*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
【書名の後の ( ) の数字は (請求記号 保管場所 資料番号) です。】

問) <sup>とくしゃつ</sup>特撮映画について知りたい。[特撮…<sup>とくしゅさつえい</sup>特殊撮影。映画・テレビなどで、特殊な機器・装置や技法を駆使して撮影し、実際には不可能なことや特殊な効果を画面に表すこと。]

答) 検索端末で図書検索をしてみましょう。

図書検索 ⇒ タイトルから探す ⇒ 特撮 ⇒ 5件ヒット

『東宝特撮映画全史』(778/To24 地下書庫和図書 000036608)

『特撮映画大全集 東宝戦争映画編』(778/Ka94 地下書庫和図書 000040459)

『特撮円谷組』(778/To24 開架一般 000053659)

さらに知りたい!

問) 「特撮の神様」とよばれた<sup>つぶらやえいじ</sup>円谷英二のことについて知りたい。また、ゴジラについての本があれば合わせて読みたい。

答) 「いずれかのことばを含む」にチェックを入れて検索してみましょう。

図書検索 ⇒ タイトルから探す ⇒ 「円谷英二 ゴジラ」と入力し、右側にある「いずれかのことばを含む」に☑ ⇒ 9件ヒット

『円谷英二』(778/Ts24 地下書庫和図書 000042519)

『ゴジラは円谷英二である』(778/Ts24 地下書庫和図書 000061824)

『初代ゴジラ研究読本』(778/097 地下書庫和図書 060005296)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



## きせき 奇跡の1マイル

なは  
那覇の復興と国際通りの発展



那覇市の中心部に位置する国際通りは、飲食店や物産店が立ち並び、沖縄を代表する観光スポットとして知られています。

この通りは、昭和9年（1934）に那覇と首里を結ぶ道路として開通した新県道（牧志街道）を前身としており、当時は田畑の中の本道で、周囲に民家も少なく静かな場所でした。

太平洋戦争末期の昭和19年（1944）10月10日、米軍による「十・十空襲」を受け、旧那覇市街の9割が焼失すると、戦火を逃れ多くの人々が県北部の山間部や県外に避難しました。翌年4月から始まった沖縄戦でも那覇は甚大な被害を受け廃墟と化しました。

終戦後もしばらくの間、人々は那覇に戻ることができずにいましたが、昭和20年（1945）11月ごろから帰郷が許されると、壺屋を中心に徐々に人口が増えていきました。街に人が戻ると、昭和22年ごろから米軍の横流し物資を売るヤミ市が自然発生し、那覇市はこれを取り締まるため、壺屋と牧志を結ぶ現在の平和通り一帯に公設市場を開設します。市場は物流の拠点として栄え、のちの国際通り発展の足がかりとなりました。

昭和23年（1948）、牧志街道沿いに沖縄戦後初の映画館となる「アーニー・パイル国際劇場」が完成します。戦争で疲弊した人々を励まそうと作られた劇場は連日満員となり、付近には次々と商店が軒を連ね、牧志一帯が発展していきました。

昭和25年（1950）には、街道沿いで営業する約50軒の商店が集まり「通り会」を結成します。この際、大成功を収めていた国際劇場にあやかり、商店街の名称が「国際大通り団」に決まります。これをきっかけに「国際通り」という呼び名が世の中に広まりました。

その後も新たに3つの通り会が作られるなど、驚異的な発展を遂げた国際通りは、通りの長さが1マイル（約1.6km）あったことから、那覇の戦後復興のシンボルとして、いつしか「奇跡の1マイル」と呼ばれるようになりました。

### 【参考文献】

『戦後をたどる 「アメリカ世」から「ヤマトの世」へ』（219.9/N27 閉架一般）

『ことばに見る沖縄戦後史 2』（219.9/052/2 閉架一般）

『沖縄を知る事典』（291/052 閉架一般）

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 256

2022年6月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1